

2026年夏休み・シルバーウィーク旅行予約動向

株式会社エイチ・アイ・エス（本社：東京都新宿区 以下、HIS）は、夏休み期間（2026年7月17日～8月31日）、およびシルバーウィーク（2026年9月18日～23日）の予約状況から、旅行動向について下記の通りまとめました。



今年の重要なトピックとして、11年ぶりとなるシルバーウィークの大型連休が挙げられます。猛暑や混雑が予想される7～8月の夏休み期間を避け、シルバーウィークに旅行計画をスライドさせる動きも一定数見受けられることから、今年は夏休みとシルバーウィーク、両期間における旅行予約動向を発表します。

【調査方法】

調査日：2026年6月23日

調査対象：HISにて対象出発日（2026年7月17日～8月31日、9月18日～23日）の旅行をお申込みの方

対象商品：HISのツアー、ダイナミックパッケージ、航空券（宿泊のみは除く）

※数値は調査日時点での、キャンセル数などを省いた予約者数から算出

- 海外旅行予約者数 夏休みは前年比 94.2%と下回るものの、シルバーウィークと併せて 102.5%。
- 国内旅行予約者数 夏休みは前年比 95.8%、シルバーウィークと併せて 98.3%。
- 平均単価は、海外旅行 229,300 円（前年比 112.0%）、国内旅行 91,400 円（前年比 100.4%）。

海外旅行

●海外旅行 夏休み（2026年7月17日～8月31日）予約者数ランキング

順位	旅行先（前年の順位）	順位	旅行先（前年の順位）
1 位	ソウル（1 位）	6 位	ダナン（10 位）
2 位	台北（2 位）	7 位	ケアンズ（9 位）
3 位	ホノルル（3 位）	8 位	プサン（11 位）
4 位	シンガポール（4 位）	9 位	グアム（6 位）
5 位	バンコク（5 位）	10 位	セブ島（7 位）

●海外旅行 シルバーウィーク（2026年9月18日～23日）予約者数ランキング

順位	旅行先（前年の順位）	順位	旅行先（前年の順位）
1 位	ソウル（1 位）	6 位	プサン（4 位）
2 位	台北（2 位）	7 位	香港（8 位）
3 位	シンガポール（5 位）	8 位	セブ島（12 位）
4 位	バンコク（11 位）	9 位	上海（7 位）
5 位	グアム（6 位）	10 位	ハノイ（13 位）

※前年はシルバーウィーク（大型連休）ではなかったため、順位は参考値としてご覧ください

海外旅行における予約者数は、夏休み期間は前年を下回ったものの、シルバーウィークの需要が伸び、両期間の合計で見れば 102.5%と前年超えとなりました。平均単価は前年比 112.0%の 229,300 円。燃油サーチャージ、国際観光旅客税の値上がりが影響しているとみられます。

夏休み期間は、オセアニア地域が前年比 114.6%と好調に推移しています。特にオーストラリアの人气が高く、ケアンズ（同 115.9%）、シドニー（同 125.1%）、メルボルン（同 105.3%）、ブリスベン（同 131.9%）、ゴールドコースト（同 106.5%）といった主要都市の予約者数が軒並み前年を上回りました。こうした背景には、歴史的な円安や燃油サーチャージの高騰が影響していると考えられます。LCC をはじめとする燃油サーチャージの負担を抑えられる航空会社が就航する都市へのシフトが顕著となっており、オーストラリアのほか、シンガポール（前年比 122.8%）、ベトナムのダナン（同 125.6%）、ハノイ（同 136.9%）、ホーチミン（同 126.9%）といった東南アジア地域への予約も急増しています。

今年のシルバーウィークは 5 連休の効果もあり、アジアの主要都市や近郊リゾートへの渡航が大きく伸びております。ランキング 1 位にはソウル、2 位には台北と引き続き近隣アジアが上位を占めました。前年の同時期は大型連休の条件が異なるため単純な比較はできませんが、特に注目すべきは 3 位のシンガポール（前年比 291.9%）と 4 位のバンコク（同 595.0%）の急激な予約者数の伸びです。例年の短い休みでは行きづらかった中距離エリアが、5 連休という日並みの恩恵を受け、予約を押し上げていると考えます。夏休み同様、LCC の路線が充実している都市の人气が高く、航空券代金を抑え、その分を現地でのホテルや食事、アクティビティに充てるといったコストパフォーマンス重視の旅行スタイルが定着していることが伺えます。

●海外旅行 出国日・帰国日ランキング

順位	出発日	帰国日
1 位	9 月 19 日（土）	9 月 23 日（水）
2 位	8 月 8 日（土）	8 月 16 日（日）
3 位	9 月 18 日（金）	8 月 15 日（土）

出国日のランキングで見ると、2 位以下に大差をつけてシルバーウィークの 9 月 19 日（土）が最も多く 1 位となりました。前日の 9 月 18 日（金）も 3 位にランクインしており、海外旅行はシルバーウィークの利用が非常に多いことが伺えます。夏休み期間においてはお盆を絡めた日程が多く、なかでも 8 月 8 日（土）が出国のピークとなります。

国内旅行

●国内旅行 夏休み（2026 年 7 月 17 日～8 月 31 日）予約者数ランキング

順位	旅行先（前年の順位）	順位	旅行先（前年の順位）
1 位	沖縄県（1 位）	6 位	東京都（7 位）
2 位	北海道（2 位）	7 位	大阪府（4 位）
3 位	長崎県（3 位）	8 位	千葉県（8 位）
4 位	鹿児島県（6 位）	9 位	広島県（9 位）
5 位	福岡県（5 位）	10 位	大分県（11 位）

●国内旅行 シルバーウィーク（2026 年 9 月 18 日～23 日）予約者数ランキング

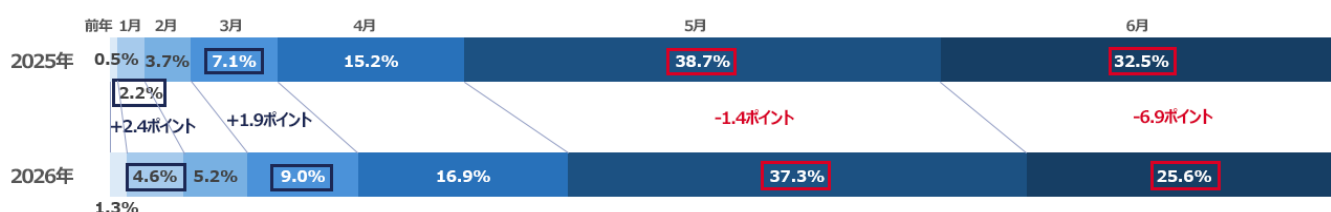
順位	旅行先（前年の順位）	順位	旅行先（前年の順位）
1 位	沖縄県（1 位）	6 位	大阪府（3 位）
2 位	北海道（2 位）	7 位	千葉県（8 位）
3 位	長崎県（6 位）	8 位	東京都（7 位）
4 位	福岡県（5 位）	9 位	大分県（15 位）
5 位	鹿児島県（4 位）	10 位	島根県（9 位）

※前年はシルバーウィーク（大型連休）ではなかったため、順位は参考値としてご覧ください

国内旅行における夏休み期間の予約者数は前年をやや下回ったものの、シルバーウィークが単体で前年比 136.6%と大幅に伸長した結果、夏休みとシルバーウィークを合わせた総予約者数は同 98.3%となり、堅調な推移を見せています。平均単価は前年比 100.4%の 91,400 円と、ほぼ前年並みの安定した水準に落ち着いています。

予約時期の傾向としては、夏休み、シルバーウィーク共に「2026年5月」が最も多く、続いて「2026年6月」がボリュームゾーンとなりました。しかし、全体におけるそれぞれの予約シェアは前年同月と比較して減少しており、変わりに1月～4月にかけての予約シェアが、前年と比べ一貫して増加する結果となりました。特に「2026年1月」（前年同月比+2.4ポイント）や、「2026年3月」（同+1.9ポイント）の伸びが目立ちます。こうした背景には、昨今の物価高やダイナミックプライシング（価格変動制）の浸透により、「出発日が直前になるほど旅費が高騰する傾向にある」という市場の仕組みが認知され、予約の早期化が定着しつつあると考えます。

●国内旅行 予約時期の推移



旅行先の順位でみれば、夏休み、シルバーウィークに大きな変動はなく、沖縄県や北海道が引き続き全体を牽引しているほか、今年は長崎県、鹿児島県、福岡県、大分県といった九州方面が軒並み上位にランクインしており、ダイナミックパッケージを中心に予約を大きく伸ばしています。一方で、顕著な動向が見られたのが大阪府の順位変動です。昨年は大阪・関西万博が開催していたことによる反動減となり、順位を下げる結果となりました。シルバーウィークにおいても同様に、市場が落ち着きを取り戻す傾向がみられました。

●国内旅行 出発日ランキング

順位	出発日
1 位	7 月 26 日（日）
2 位	7 月 27 日（月）
3 位	8 月 23 日（日）

なお、最も人気が集めた出発日は7月26日（日）となりました。海外旅行の動向とは異なり、お盆などのピーク期間をあえて外した日程に人気が集まっており、「土曜日」「日曜日」「月曜日」出発の需要が高く見られます。

夏休み・お盆特集 <https://www.his-j.com/season/summer/>

※データを引用する場合には、出典の表記（HIS「2026年夏休み・シルバーウィーク旅行予約動向」）をお願いします。

報道関係のお問い合わせ先

株式会社エイチ・アイ・エス 広報室 TEL 050-1746-4177（平日10：00～17：00）